



東北地域の和食文化メールマガジン

令和5年12月26日（火）第58号



【目次】

1. 農林水産省 「行くぜっ！につぼんの和食」キャンペーンを実施
2. 農林水産省 「おいしい食べきり」全国共同キャンペーン開始
3. 全国食の甲子園協会 「第12回ご当地！絶品うまいもん甲子園」の結果について
4. 21世紀構想研究所 第18回「全国学校給食甲子園」の結果について
5. 中央味噌研究所 「第64回全国味噌鑑評会」の結果について
6. しょうゆ情報センター 「第50回全国醤油品評会」の結果について
7. 全国納豆協同組合連合会 「第27回納豆鑑評会」の結果について
8. 農林水産省 「aff」12月号について

=====

1. 農林水産省 「行くぜっ！につぼんの和食」キャンペーンを実施

=====

農林水産省では本年12月4日（月曜日）に和食がユネスコ無形文化遺産に登録されて10周年を迎え、新たな発想で「和食文化の魅力」を若者・子育て世帯に発信していく「行くぜっ！につぼんの和食」キャンペーンを実施しています。

活動に御賛同の方は、是非御参加をお願いします。

【実施期間】令和5年12月4日（月）～令和6年12月3日（火）

【内容】

（1）賛同者の募集及び和食の保護・継承活動の促進

本キャンペーンの趣旨に賛同し、本キャンペーンに参加する企業、団体または個人を募集します。

賛同者は、以下のいずれかの活動の実施を宣言することでキャンペーンに参加し、和食文化の保護・継承活動の促進に取り組んでいただきます。

ア 和食文化の魅力を様々な視点（「すごい！」、「かっこいい！」、「おもしろい！」、「のこしたい！」等）から国内外に発信する活動

イ 地域での伝統的な食文化の保護・継承活動やこれを支援する活動

ウ 和食文化継承リーダー等地域や学校で子どもたちや若者・子育て世帯に和食文化を伝える者に対して、活動の場を提供する活動

エ その他和食を食べる機会の増加につながる活動

（2）ロゴマークの作成

賛同者へロゴマークを直接配布し、賛同者のロゴマークを使用した活動を促進します。



(3) 特設サイトの開設

「行くぜっ! にっぽんの和食」キャンペーン特設サイトを開設しました。

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/231204.html>

【外部リンク】キャンペーン特設サイトはこちらから→

<https://www.washoku10th.jp>

=====

2. 農林水産省 「おいしい食べきり」全国共同キャンペーン開始

=====

農林水産省は、消費者庁、環境省及び全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会と連携し、
外食時の「おいしい食べきり」全国共同キャンペーンを実施しています。

忘年会や新年会等年末年始の会食等が多くなる時期に外食時の適量注文による食べきりや、テイクアウト時の適量購入、家庭での食べきりを呼び掛けるもので、どうしても食べきれない場合の「mottECO(もってこ)」(食べ残しを持ち帰る行為)を自己責任の範囲で取り組むことも併せて呼び掛けていきます。

実施期間：令和5年12月～令和6年1月

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/231130.html>

=====

3. 全国食の甲子園協会 「第12回ご当地! 絶品うまいもん甲子園」の結果について

=====

地元産食材を使って高校生が調理の腕と味を競う「第12回ご当地! 絶品うまいもん甲子園」が
11月26日に都内で決勝大会が開催されました。

全国79校304チームの高校生が参加しご当地の食材を使ったオリジナルレシピの中から、選抜大会を勝ち抜いた9チームにより決勝が行われました。

北海道・東北エリアからは、青森県立弘前実業高校が出場し、特産品の棒だらを使った「津軽☆めっ鯛キッシュ」が特別賞を受賞しました。

優勝は、群馬県立勢多農林高校の「群馬のお好そば焼き」が農林水産大臣賞を受賞しました。

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://umaimonkoshien.com/>

=====

4. 21 世紀構想研究所 第 18 回「全国学校給食甲子園」の結果について

=====

NPO 法人 21 世紀構想研究所主催による第 18 回「全国学校給食甲子園」決勝大会が令和 5 年 12 月 10 日、都内で開かれました。

給食に携わっている全国の栄養教諭、学校栄養職員、料理員が地域で生産される様々な地場産物を活用し、独自の工夫で栄養価の高い給食を会場で実際に調理し競う大会です。

東北の表彰校は以下のとおりです。

第 18 回全国学校給食甲子園・調理コンテスト

21 世紀構想研究会特別賞 遠野市学校給食センター（岩手県）

第 18 回「全国学校給食甲子園・食育授業コンテスト

食育授業精励賞 遠野市学校給食センター（岩手県）、宮古市立学校重茂給食センター（岩手県）

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://kyusyoku-kosien.net/>

=====

5. 中央味噌研究所 「第 64 回全国味噌鑑評会」の結果について

=====

中央味噌研究所主催による「第 64 回全国味噌鑑評会」の審査結果が公表され、東北からは全国味噌工業協同組合連合会会長賞を 6 社、一般社団法人中央味噌研究所理事長賞を 5 社、全国味噌鑑評会審査長賞を 1 社が受賞しました。

【東北管内各県別受賞者数】

全国味噌工業協同組合連合会会長賞

山形県 4 社、宮城県 2 社

一般社団法人中央味噌研究所理事長賞

福島県 1 社、秋田県 2 社、 福島県 2 社

全国味噌鑑評会審査長賞

青森県 1 社

【外部リンク】詳細はこちらから→

https://www.miso.jp/chumiken_kanpyokai.html

=====

6. しょうゆ情報センター 「第 50 回全国醤油品評会」の結果について

=====

日本醤油協会主催による「第 50 回 全国醤油品評会」の審査結果が公表され、東北からは農林水産大臣賞を 1 社、農林水産省大臣官房長賞を 2 社、優秀賞を 13 社が受賞しました。

農林水産大臣賞

福島県 合資会社山形屋商店 「ヤマブン別上こいくち醤油」（こいくち）

農林水産省大臣官房長賞

株式会社中村醸造元 「津軽 本醸造」（こいくち）（青森県）

福島県醤油醸造協同組合 「香味しょうゆ」(こいくち)(福島県)

【東北管内各県別優秀賞受賞者数】

宮城県 2 社、秋田県 1 社、山形県 2 社、福島県 8 社

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://www.soyssauce.or.jp/fair>

=====

7. 全国納豆協同組合連合会 「第 27 回納豆鑑評会」の結果について

=====

全国納豆協同組合連合会主催による日本が世界に誇る総合栄養食「納豆」の日本一を決める「全国納豆鑑評会」の第 27 回大会が長野県長野市で令和 5 年 11 月 9 日に開催され、全国 69 メーカー、総出品数 180 点の中から、東北の 2 社が入賞しました。

優秀賞小粒・極小粒部門(全国農業協同組合連合会 経営管理委員会会長賞) (有) ミドリヤ「みのり納豆ほのか」(福島県)

優良賞大粒・中粒部門(納親会長賞)(有) わたり納豆「ミヤギシロメ大粒納豆」(宮城県)

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://www.natto.or.jp/kanpyou/index.html>

=====

8. 農林水産省 「aff」 12 月号について

=====

農林水産省の広報誌「aff」の偶数月連載は、「旅する農業遺産」です。

12 月号は、和歌山県みなべ・田辺の梅システムが 27 日公開予定です。

特集は、「知って食べてもっとおいしい最新農業技術」です。

本来たべられるのに捨てられる「食品ロス。」

私たちの食卓に並ぶ食料を支える農業技術の事例や研究者のお話です。

【農林水産省 HP】「aff」最新号はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

=====

問い合わせ先：東北地域の和食文化ネットワーク事務局 東北農政局経営・事業支援部食品企業課 担当：小田桐

TEL：022-263-1111 (内 4570)

メールアドレス：keisyonw-tohoku@maff.go.jp

※東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

★農林水産省の Web サイト(和食文化ネットワーク)→

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

☆東北農政局 Web サイト(和食文化ネットワーク)→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/syokuryou/syokubunka/washokubunkanetwork.html>